



かない ひさお
金井久男
(日本共産党安中市議員)

学校教育・農業振興について

児童の心のケアについて

問 昨年の新入生は、6月開校後互いに話も遊びもできなかつたと聞く。社会性の育成指導はどうだったのか。

答 新入生などは、集団生活、学習に順応するまで時間を要したと聞きます。担任も配置された支援員も重点的に低学年担当にして児童の心のケアに努めてきました。

支援員の増員について

問 コロナ禍で現場の教職員の業務は増えているが、市費での支援員の配置を増やすべきでは。

答 感染予防対策を行うことで、大幅に業務が増えました。昨年度は県費学習指導員が全校に配置されました。今も要望が出されています。

ALTの見直しについて

問 今年8月以降は、アメリカ人女性1名になっている。今後の計画は。



令和3年度限りで閉校となる、九十九小学校

答 今後は9月1名、10月3名、11月1名が来日予定であり、残り6名は調整中です。

細野原南部土地改良事業について

問 後継者がいると答えた方が13%いる。「作りやすい農地に整備して子や孫に遺したい」といった声もある。意欲のある地権者に依拠した新たなスタートが肝心だが市の考えは。

答 協議会役員の方々を中心に、意欲のある農家で話し合い、方向性を示すものと考えます。

小・中学校統合について

問 教育委員会の準備経過は。

答 新しい校名の決定と通学区域の変更を行ってきました。また、対象校の児童生徒の通学手段としてスクールバスの購入を予定しています。

問 児童の環境変化への不安解消に向けた取り組みは。

答 3小学校の交流活動を通して不安が少しでも解消できるようにします。また、統合後も子ども達の心情を丁寧に聞き取り、不安感・孤独感・喪失感が生まれないよう配慮し、児童の一体感の醸成に努めます。

問 中学校の統合に向けた課題や解決への取り組みは。

答 2校の教職員で構成する統合準備会が発足、その下に各部会が組織され、それぞれ協議が進んでいます。また、PTA活動の見直しと調整も進んでいます。

問 市として、廃校施設の利活用



まつもと つぎお
松本次男
(無所属)

小、中学校統合・会計年度任用職員制度について

を総合的に展開する考えは。

答 「第2期安中市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、地域住民による防犯や防災、まちづくり等の活動を支援し、地域の課題への対応力を持った地域コミュニティを形成することを目指しています。

廃校施設を、地域の皆さんや地域コミュニティが主体となつて利活用することも、活用案の1つと考えます。

その他、1項目を質問しました。



安中市のスクールバス
(写真は既存のもの)